

## 1. 概要

10月議会選挙を一ヶ月後に控え、各陣営の選挙キャンペーンが本格化した。また、ボジャノ最高裁判事が議会で罷免された他、政府のピケテロ対策が若干強固になった結果、一部で警官隊とピケテロの衝突事件が起こった。

外交面では、キルチネル大統領が国連首脳会合に出席するため訪米した他、同訪問の機会にサパテロ西首相、プーチン露大統領、チャベス・ベネズエラ大統領等との首脳会談が行われた。その他、キルチネル大統領の伯訪問、ラゴス・チリ大統領の訪亜等が行われた。

## 2. 内政

(1) 10月議会選挙（上院改選議席：24、下院改選議席：127）

(イ) 10月23日に実施される議会選挙に向けて、各陣営は、選挙キャンペーンを展開しているが、当地主要紙クラリン紙に掲載された選挙約1ヶ月前の主要候補の予想得票率に関するCEOP社の世論調査結果は以下の通り。

(i) ブエノスアイレス州選挙区（上院改選議席：3、下院改選議席：35）

- ・クリスティーナ候補（キルチネル大統領夫人、勝利のための戦線）：40.1%
- ・イルダ候補（ドゥアルデ前大統領夫人、ペロン党）：16.9%
- ・ロペス・ムルフィー候補（共和国提案（国家再建党、変革党等の選挙連合））：7.3%

(ii) ブエノスアイレス市選挙区（下院改選議席：13）

- ・カリオ候補（共和国平等党）：22.9%
- ・マクリ候補（共和国提案）：20.7%
- ・ビエルサ候補（現外相、勝利のための戦線）：17.3%
- ・サモラ候補（自決・自由党）：4.3%

(ロ) 23日、ブエノスアイレス市選挙区から下院議員に立候補を表明していたカバロ元経済相は、候補者リスト作成を巡る所属政党内の問題、選挙キャンペーンのための資金不足等により、立候補を辞退した。

(ハ) 28日、下院において、与党・ペロン党のドゥアルデ前大統領派議員は、野党議員と協力して、政府が反対する金融機関による貸し付け担保の差し押え停止措置延長法案を可決させた。同法案は、今後上院で審議されるが、キルチネル大統領とドゥアルデ前大統領の対立が決定的となって以降、下院でドゥアルデ派議員が野党勢力と一致して政府に対抗する姿勢を示したことに関心が集まった。

(2) 最高裁人事

(イ) 28日、議会上院は、職務怠慢を理由に、メネム元大統領派判事との噂があったボジャノ最高裁判事の罷免を決定した。また、上院は、同判事に対する無期限の公職就任禁止という非常に厳しい制裁措置も賛成多数で可決した。

(ロ) 同日、同判事は、「上院の今次決定の無効を求めるために、最高裁判所及び国際機関(米州人権裁判所等)に訴えるつもりである」と述べた。

(ハ) 現在、9名で構成される最高裁の2席が空席となっているが、キルチネル大統領は、10月議会選挙に専念するために、選挙後に新たに2名の最高裁判事候補を指名することになると見られている。

### (3) 国境警察

26日、キルチネル大統領は、軍政期(1976-83年)の行方不明者問題に関与した疑惑により、パステリス国境警察長官を更迭した。後任には、エスケノネ国境警察副長官が就任した。

### (4) ティエラデルフエゴ州

(イ) 9日、ティエラデルフエゴ州議会の弾劾委員会は、コラソ同州知事が2004年度予算を不正使用した等の疑いで、同知事に対する60日間の職務停止処分を決定した。同決定を受けて、コラソ氏と対立関係にあったコカロ副知事が暫定知事に就任した。

(ロ) 12日、コラソ氏による議会の決定無効を求める訴えを受けて、州最高裁は、コラソ氏の州知事復帰を命じる判決を下した。同判決により、コラソ氏は、直ちに州知事職に復帰し、コカロ副知事も同判決を受け入れる旨表明した。

### (5) ピケテロ

(イ) 2日、ピケテロ、労組関係者、学生、左翼グループ等1万人以上の市民が、大統領府前の五月広場に向けてデモ行進をしようとしたが、政府は、約1千人の警官隊等で壁を作り、同広場に入ることを阻止した。デモ隊と警官隊は対峙して一時緊迫状態が続いたが、結局、同デモは、警官隊等との大きな衝突なく終わった。

(ロ) 9日、ピケテロ、左翼グループ等約3,000人の市民が、11月4-5日にマルデルプラタ市で開催される米州サミット出席のためのブッシュ米国大統領の訪亜に反対するため、五月広場に向けてデモ行進を行おうとしたが、警官隊が同広場に入ることを阻止したため、デモ隊と警官隊が衝突し、警官11名及び市民1名が負傷した。

### (6) スト

(イ) 22-23日、エセイサ国際空港及びアエロパルケ空港において、アルゼンチン航空のパイロット及び技術士が賃上げを要求するストを行い、その結果、111本の航空便がキャンセルとなり、約1万2000人の乗客に影響が出た。

(ロ) 23日夜、労組と経営側が、9月及び10月分の給与に特別手当(パイロット:400ペソ、技術士:200ペソ)を上乗せすることで合意し、ストはとりあえず解除された。しかし、賃上げ交渉は引き続き行われている。

### 3. 外交

#### (1) 国連総会

(イ) 13-16日、キルチネル大統領は、国連首脳会合等に参加するため、ニューヨークを訪問した(クリスティーナ大統領夫人(上院議員)、ビエルサ外相、デビッド公共事業相等同行)。

(ロ) 14日、キルチネル大統領は、国連首脳会合において、亜の経済回復をアピールすると共に、IMFは、兌換制が崩壊した経済危機の直前まで亜を支援していたにもかかわらず、最近の経済回復過程において亜を支援しなかったとしてIMFを批判する等の演説を行った。

また、キルチネル大統領は、マルビーナス諸島領有権問題に関して、亜は、公平で平和的かつ持続的な解決を得る用意があることを確認すると共に、英に対して、早急に国際社会の呼びかけに応じ交渉を再開することを要請すると述べた。

その他、経済開発、債務問題、先進諸国の農業補助金、関税障壁、民主制の向上、人権等について発言した。

(ハ) 14日、キルチネル大統領は、安保理首脳会合に参加し、「平和への脅威はテロだけでなく、大量破壊兵器の保持、人権侵害である」、「亜は、全てのテロ行為が犯罪であり、正当化されないと考えている」、「亜は、真の国連強化に繋がるマルチラテラル・システムの改革を求めている」等と述べた。

#### (ニ) 二国間会談

(i) 14日、キルチネル大統領は、パーション・スウェーデン首相と会談した。同首相は、キルチネル政権の人権政策を賞賛した。

(ii) 15日、キルチネル大統領は、サパテロ西首相と会談し、西系企業が投資している亜の民営化企業(水道、電話、航空等)問題等について話し合った。

両国は、10月14日に西で開催予定のイベロアメリカ・サミットの際に、通商関係強化や文化統合についての戦略的同盟関係を構築する合意文書に署名する予定である。

(iii) 15日、キルチネル大統領は、プーチン露大統領と会談し、亜・露間の通商関係強化や将来の投資拡大について話し合った。プーチン大統領は、現在、亜・露間の通商関係は、良好であるが、素晴らしいというわけではなく、露は亜とエネルギーや宇宙開発分野での協力関係を強化することに関心を有していると述べた。

また、亜の債務問題について、プーチン大統領は、亜とIMFの交渉に注目していると述べた。

(iv) 15日、キルチネル大統領は、チャベス・ベネズエラ大統領と会談し、更なる亜国

債の購入を求めたのに対して、チャベス大統領は既に購入済みの5億ドルと合わせ最大10億ドルまで亜国債を購入する旨約束した。また、亜の石油公社 ENARSA とベネズエラの石油公社 PDVSA の共同事業実施の可能性についても話し合った。

(v) 16日、キルチネル大統領は、ロドリゲス・ボリビア大統領と会談し、ボリビアから亜への天然ガス輸出について話し合った。ロドリゲス大統領は、非公式にガス輸出拡大を約束した。

(ホ) その他、キルチネル大統領は、ニューヨーク滞在中、ブッシュ米国大統領主催歓迎レセプション、在ニューヨーク亜人コミュニティとの懇談会等に出席した。

## (2) 南米共同体首脳会合

(イ) 29日夜、キルチネル大統領は、南米共同体首脳会合が開催されたブラジリアを訪問し、ルーラ伯大統領主催の晩餐会に出席した。首脳会合の日程の内、キルチネル大統領が参加したのは右晩餐会のみであり、同大統領は、10月23日の議会選挙対策等のため、首脳会合自体には出席せずに30日朝に亜に帰国した。

(ロ) 29日夜、キルチネル大統領は、ブラジリアでチャベス・ベネズエラ大統領と会談し、両国の石油会社による亜でのガソリン・スタンドへの投資やベネズエラによる亜企業への石油タンカー建設発注、亜農業機械購入等に関する合意文書に署名した。

(ハ) 南米共同体首脳会合に出席したドゥアルデ・メルコスール常設委員会委員長（前大統領）は、同委員長職を、任期が終了する12月に退く意向を示した。

## (3) チリ

29日、キルチネル大統領は、亜のフイ州を訪問したラゴス・チリ大統領と共に、二国間を繋ぐ同州パソデハマの舗装道路開通式に出席した。キルチネル大統領は、ラゴス大統領がこれまで様々な国際会議等の場で亜のIMF等に対する立場を支持する旨表明したことに謝意を表した。

## (4) 北朝鮮（六者会合）

20日、亜外務省は、19日に北京で採択された六者会合の共同声明を歓迎する旨のコミュニケを発出した。

## (5) 要人往来

### (イ) 来訪

9月29日                   ラゴス・チリ大統領（フイ州）

### (ロ) 往訪

9月1－2日               ラバーニャ経済相のベルギー訪問（EU・メルコスール会議出席）

9月13－16日           キルチネル大統領の訪米（国連首脳会合出席、クリスティーナ大統領

領夫人（上院議員）、ビエルサ外相等同行）

9月23－24日 ラバーニャ経済相の訪米（IMF・世銀年次総会出席）

9月23－26日 デビード公共事業相のベネズエラ訪問（チャベス大統領等と会談）

9月29－30日 キルチネル大統領のブラジル訪問（ビエルサ外相、アニバル・フェルナンデス内相、デビード公共事業相等同行）